

資料の収集、保存、活用の仕方や
諸調査の実施と検討を中心に、指導
の資料を整える。

⑤ 保護者研修部会

保護者を啓発し、意識の高揚及び
連携を図るため、計画的な研修会や
広報活動を行う。

六、研究の概要

資料3 個人記録カード（記入例）

2年生時の記録		昭和 63 年度	
	6月	12月	3月
1. 将来の夢や希望する職業	幼稚園保母		
2. その夢や希望職業を持った理由	小学校の時 幼稚園の保母さん がよいと思ってた。 保健部班長に わたした世話をだけて なく薬品を扱いたい。 係の仕事を 続けて、薬は大事 なものと思っている。		
3. 特色・適性	(1)身体の状況 体位や体力は、かわいい。病気もない。 (2)学習の状況 成績は特別良い方ではないと思う。 (3)運動の能力 スポーツテストで持久走が良かった。 (4)性格や行動 明るい方。落ちついている。 (5)興味や関心 人の世話、音楽を聞くこと。 (6)技能 (職業適性) よくわからない。 (7)趣味・特技やその他の特色 小物集め、音楽が好き。		
4. 他の人から見た私	(1)友人の話から 日るい人に好かれるとおもふ。他の人のために活動をよくしている。 (2)家人の話から おもひているが時々忘れものがある。 (3)先生の話から 奉仕的だと言われた。		
保護者や担任の助言記録欄	子供のときから他の人の面倒をよくみて希望が変わったようです (よしあなた) が孫の活動を生きて大変よいと思います。(渡辺)		

い生徒像を描き、指導を通してそ
れを目指させる。（資料1参照）

工 研究主題と各部研究のつながり
が明確になるよう検討する。

(2) 生徒の意識の把握
導と他領域の関連を押さえる。
生徒の意識から問題点を探り、指導
後の一歩と比較する。

(1) 進路指導全体計画の検討と改善
全体計画を見直し、改善した。検討
に当たっては、次の点に留意した。

① 研究推進全体図で、研究の構造を
明確にする。

ア 地域、生徒の実態を踏まえる。
イ 県教委の重点施策や努力目標と
の関連を図り、今日の教育課題を
とらえて研究でくるようにする。

② 進路指導全体計画の整備をする。
ア 進路學習の題材設定に当たり、
「進路計画」を中心据えた主題
系統表を作成し、指導順序をはつき
りとさせる。

イ 全体計画の整備により、進路指
導と相談についての考え方、
「進路計画」を中心据えた主題
系統表を作成し、指導順序をはつき
りとさせる。

② 一年後に調査し、指導開始時と比
較して、指導の結果を見る。

① 進路計画の必要性、自分の特性の
理解、進路選択についての考え方、
進路相談、将来の進路の設計などの
意識を把握する。

③ 生徒の自己理解の深めさせ方と教
師による生徒理解の進め方の研究
自己理解を深めさせることが、自分
の特性を踏まえた進路の選択につなが
ることから、中学校三か年を通してこ
の学習を進める必要があるとの認識に
立ち、全体研究会で研修を深めた。

④ 自己理解を主とする主題を系統的
に配列して、指導時間を確保する。

⑤ 生徒が主体的に取り組めるよう配
慮し、進路相談を通して、自己理解
を深めさせる。

⑥ 授業の中で記録を累積させるほか、
定期的に記入させるための記録表を
作成する。同時に個人ファイルを持
たせ、授業での資料とともにとにじ込
んでおかせる。

⑦ 教師が生徒理解のための手順と内
容を知り、日常の観察と結び付けて
指導を行う。

(4) 目的意識育成に関する研究
望ましい進路の選択をさせるには、
進路の学習を通して目的意識を育てる
ことが大切である。そのための方法は